

## 思いやりの場面でしたが・・・

先日、神奈川県内のある観光地に電車で訪れたときのことです。車窓から見る景色は素晴らしく、ついつい熱中して見ていました。電車内は観光客でやや混雑しています。幸運にも私は座ることができたのですが、そのとき途中駅から妊婦と思われる女性が乗車してきました。

しかし、その女性が妊婦かどうかは定かではなく、マタニティーマークも見付けることができません。電車内はますます混雑してきており、女性の姿を見つけるのは難しいほどになっていました。終点に着き、ホームを歩いていると、その女性を見かけました。が、マタニティーマークを私の視界に入らないところに付けていました。

その事実を知った瞬間、何とも言えない脱力感に見舞われました。「なぜあのとき、声をかけなかったのだろう。」と。仮に間違えたとしても、席を譲られて悪く思う方はそうそういるものではありません。しかも、あの混雑した電車内です。

このような場面は道徳の内容項目で言えば、「親切・思いやり」に該当します。道徳科の授業では、教科書のお話を基に考えさせていますが、このような教師からの実話に基づいた状況の話題について皆で考えることもあります。ちなみに、この話を学級で話したときのこどもたちの反応は、「込み合っている電車内なら仕方ない」「間違えてもいいので席を譲った方がよい」などの意見が出ました。

(文責:道徳教育推進教師 久慈 利幸)

## 3年生の道徳科の時間

友達の絵を誤って汚したことを正直に謝る「ぼく」の姿などを通して、心から謝ることのよさについて考え、過ちを犯したときにはごまかさずに素直に反省し、正直に明るい心で過ごそうとする態度を育てる授業です。

主題名:正直にあやまる心 教材名:「よごれた絵」

内容項目:「正直・誠実」

あらすじ:「ぼく」とさとしさんが遊んでいたら、壁にある絵に雑巾が当たり、汚れてしまいました。その絵は、あきらさんが一生懸命描き、写生大会で金賞をとった絵でした。あきらさんに謝る「ぼく」。初めは横を向くあきらさんでしたが、「ぼく」が何度も頭を下げ、心から謝ると許してくれるのでした。

### 教師の問い

ぼくが正直に謝れたのはどうしてでしょう。

### こどもたちの考え

- ・相手の悲しそうな顔を見たから、耐えられなかったからだと思います。
- ・このまま、ずっと謝れないのは嫌だと思ったからだと思います。
- ・自分はやっぱりひどいことをしたと分かったからだと思います。
- ・ずっと後悔していたから、勇気を出したと思います。

授業の振り返りでは、正直な心について、こどもたちと考えました。

### 教師の問い

悪いことをしてしまったとき、どうしていきたいですか。

### こどもたちの考え

- ・勇気を出して、正直に謝りたいと思います。
- ・自分も相手ももやもやし続けるのはいやだから、すぐに謝るようにしたいです。
- ・これからはしっかりと謝れるようにしたいです。

当日の板書です。

